

酒質に優れ、栽培が容易な醸造用白色ぶどう品種「モンドブリエ」

【1 成果概要】

- (1) 醸造用ぶどう「モンドブリエ」は、北上市（農業研究センター）において9月下旬～10月上旬に収穫可能な白色品種です。裂果が少なく、べと病に罹病し難いため栽培が容易です（表1）。
- (2) 「モンドブリエ」のワインは、特有の芳香（マスカット香）を持ち、官能評価において「シャルドネ」と同等の評点が得られています（表2）。

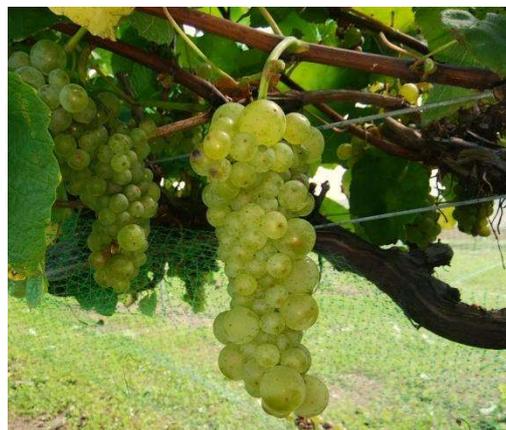


表1 「モンドブリエ」及び対照品種の果実品質（2012～2019年（2018年を除く）の平均）

品種名	収穫期 (月/日)	房重 (g)	粒重 (g)	糖度 (° Brix)	酸度 (g/100ml)	含核数 (個)	収量 (kg/樹)
モンドブリエ	10/2	154	2.2	19.5	0.99	1.5	22
シャルドネ	9/25	179	2.1	17.5	0.90	2.2	13

注) 試験樹の概要：2008年定植、露地、改良マンソン棚、中梢剪定、植栽距離3m×5m、台木101-14。
2018年は鳥害が認められたため、データを除外した。

表2 「モンドブリエ」及び対照品種のワイン品質（岩手県工業技術センター、2012～2017年の平均）

品種名	アルコール分 (%)	エキス分 (%)	総酸含量 (g/100ml)	評点 (10点満点)
モンドブリエ	11.7	3.05	0.81	6.1
シャルドネ	11.8	2.91	0.73	5.9

注) エキス分：ワイン中の不揮発性成分

評点：岩手県工業技術センター醸造担当職員（官能評価の有資格者）による官能評価（色調、香り、味）。

【2 留意事項】

- (1) 本品種は、山梨県果樹試験場において育成され、2016年に品種登録されています。
- (2) 本品種は、果房への小果粒の混入及び収穫期の果粒に黒斑が発生することがありますが、いずれもワイン品質に影響はありません。

※ 本研究の一部は、農林水産省「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」地球温暖化に対応したブドウ及びウメ新品種の開発と温暖化に伴う適地変化予測により実施しました。